

沖縄戦で米軍の上陸地となった北谷では、墓は壊され遺骨が散乱する状態となっていました。戦後、村域の大半が軍用地に接収された北谷の人々は、米軍に遺骨の収容を懇請し、各自で軍用地の外に墓を移し葬りなおしました。

1951年(昭和26)頃から基地建設が盛んになると、軍用地内に存在する墓や遺骨を撤去するように米軍から命じられました。身元の分からない遺骨は1954年(昭和29)に無縁塚に納骨され、翌年から無縁塚と平和之塔において北谷村主催の清明祭が実施されました。

その後、1958年(昭和33)に供養堂を建設し遺骨を安置していましたが、新たな収容が難しくなったことと、供養堂の場所が住宅開発地域となったため、1976年(昭和51)2月にうぐいす谷墓地霊園内の現在の場所に移設されました。写真はその時の様子です。

北谷町主催の供養堂清明祭は現在も継続されており、今年度は4月20日に実施されました。



公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。

